



国内規律裁定委員会 提訴結果の公示

1. 件名

2024年度 MFJ 国内競技規則 第4章 MFJ 裁定規則 38-3 提訴申し立て

2. 提訴人

TEAM KOH-Z オーナー 辻本 幸二

3. 被提訴人

川井 麻央選手ならびに T.E.SPORT

4. 提訴内容

2024年10月19日～20日開催、D.I.D.全日本モトクロス選手権シリーズ第8戦
第62回 MFJ-GP 大会におけるレディースクラス決勝ヒート直後のライダーインタビューでの
川井麻央選手(T.E.SPORT 所属)の発言
「あんなやつには負けたくないと思って、最後まで走って、、、」
「ライダーとチーム代表を呼び出し、口頭による注意を行った。」という判定は甘すぎる

5. 提訴の趣旨

大会審査委員会による口頭での注意という判定以上の罰則を要求。
理由は以下の通り。

- 川井選手は、チャンピオンという立場であり、スポーツマンシップ精神に著しく反して言動を行った。
- 川井選手の発言が業界のイメージを悪化させる可能性がある。
- 応援に来られているファンの方々の気分を害する発言であった。
- レベルの低い業界と認識され、スポンサーが離れる可能性がある。

6. 裁定

国内規律裁定委員会は、聴聞会で提訴側、被提訴側双方から示された証拠・証言に基づき審議し、
大会審査委員会の裁定を妥当とせず提訴を認め、下記の罰則を与える。

- 川井麻央選手に対し、訓戒。
 - 所属チームである T.E.SPORT に対し、訓戒。
- ※川井選手ならびに T.E.SPORT が、今後レディースクラスに出場する選手および関係者に対し、
再び類似事案を発生させた場合は資格停止以上の罰則を科す。

7. 裁定理由

当該レースが最終戦であることから、川井選手に相当な精神的負荷が発生していたことは理解できる。ただし、全日本モトクロス選手権参加者として、そしてチャンピオンの言動として、様々な方が視聴する優勝インタビューの場においては、他のライダーへの敬意を欠いた失言であったと言わざるを得ない。よって選手ならびに所属チームに対し「訓戒」とした。さらに、今後の活動において再発をさせないことを目的とし、同様事案の発生時には資格停止以上の罰則を科すこととした。

以上を国内規律裁定委員会の最終決定とする。

以上
国内規律裁定委員会
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会